

日本応用地質学会
岩盤分類再評価研究小委員会（第二期）

第 9 回議事録

平成 21 年 6 月 24 日

1. 日 時：平成 21 年 6 月 17 日(水)14:00～18:00
2. 場 所：応用地質学会事務局
3. 出席者：平野、伊東、遠藤、桑原、小島、都築、堀川、村上、綿谷、江口（敬称略）
計 10 名
4. 資 料：
 - ・議事次第
 - ・資料 9-1 第 8 回議事録（案）
 - ・資料 9-2 各担当執筆原稿案（6 月 17 日時点修正版）
 - 資料 9-2-1 第 3.3 章 地形要因
 - 資料 9-2-2 第 6.6 章 地下空洞の岩盤分類
 - ・資料 9-3 査読意見
 - 資料 9-3-1 江口
 - 資料 9-3-2 遠藤委員
 - 資料 9-3-3 久野委員
 - 資料 9-3-4 平野委員長
 - 資料 9-3-5 伊東委員
 - 資料 9-3-6 小島委員
 - ・資料 9-4 著作権関係資料
5. 議 事：
 - 5-1 前回議事録の確認
内容については了承された。
 - 5-2 執筆原稿案について
技術書の内容について、特に資料 9-2-1 に基づき議論を行った。桑原委員より以下の報告があった
 - ・岡山切峰面と斜面と地表面との深度と強度の関係についてまとめているところであるが、この内容の技術書への記載については応用地形学小委員会での審議結果による。
 - 5-3 技術書について
技術書の執筆方法および査読結果等について、資料 9-3-1～9-3-6 等に基づき議論を行った。議論の内容結果は以下の通り。
〈資料 9-3-1〉

- ・第 1 章で各用語の定義を記載する。なお、定義が必要な用語の選定については幹事で案を作成し、次回小委員会で審議する。
- ・2.1 章は岩盤分類の歴史の総論と体系を記載することとし、2.3 章と合併させる。その際、各工種の岩盤分類の歴史は 2.3.1.1 と重複することから、記載を簡便にとどめる。
- ・5.3 章は 6 章の各論と重複する内容であるため、総論的な記載にとどめる。
- ・岩盤の記載分類については他の章でも説明があり、重複しているため 6.1 章は省略し、以降番号をずらす。なお、JGS 分類とダムの電研式、土研式分類との比較研究事例については 6 章の最後でコラム的な扱いで記載する。
- ・6.2.1 章のダムの設計等の説明については、岩盤分類に関する記載を増やす。

〈資料 9-3-2〉

- ・図 1.1.2.1 のフロー図は、「岩盤モデル化」のあとに「解析・評価」が流れる様修正する。
- ・2.3.1.2 章、5.1.1 章において「岩石の硬さは初性的な強度、岩石の風化は 2 次的な強度」という記載があるが、岩石の硬さは風化や変質等の 2 次的な強度を含んだものとして使用されると考えられるため、記載を修正する。

〈資料 9-3-3〉

- ・平成 19 年度シンポジウム資料との位置づけ、シンポジウム資料からの引用に対する許諾等については以下の通りとする。
 - ①シンポジウム資料からの引用および第 1 期メンバーに対する謝辞を「はじめに」と「おわりに」に記載する。
 - ②第 1 期委員の名簿を記載する。
 - ③本文の中では、シンポジウム資料によるオリジナリティーの高い文章、図表、写真等については参考文献として記載する。
 - ④平成 17 年度に年次講演会で発表した岩盤分類関連の論文、ポスターを参照する場合も参考文献として記載する。

〈資料 9-3-4〉

- ・3.2 章における地質要素については、各要素について簡単に工学的な影響を記載し、第 4 章の工学的性質につなげられるようにする。
- ・6 章の各工種の概要部分は、岩盤分類に関する記載にとらわれすぎないよう一連の技術的過程をふまえた記述となるよう心掛ける。

〈資料 9-3-5〉

- ・現在の技術書は、「地質工学概論」や「岩盤分類とその適用」と比較し、第 6 章各論のボリュームが非常に多い。また、「地質工学概論」では技術書の 1～5 章にあたる部分の記載が技術書より多くなっている。

〈資料 9-3-6〉

- ・地下空洞については、他の 6 章の記載と合わせるため、以下の通り修正すべきであるという意見が出た。
 - ①シンポジウム資料においてまとめられていた地下発電所、石油地下備蓄の岩盤分類のレビューを記載する。
 - ②CIRATA の事例紹介が非常に詳しいため、この部分を簡略化する。

〈その他〉

- ・ 6.4 章原子力の冒頭で、「原子力基礎を対象とした岩盤分類は…（中略）…原子炉設置許可申請のための原子炉施設（付帯重要建屋含む）の安定性評価を目的としたもの…」と記載されているが、岩盤分類の目的について誤解を招く表現であるため、訂正を依頼する。また、以降の表現についても同様の表現があれば訂正する。

5-4 著作権の許諾について

著作権の許諾について、堀川委員より第一期シンポジウム資料作成時等の状況を説明いただいた。議論内容は以下の通り

- ・ 出版社が管理している著作物の許可に関しては比較的許諾の申請がスムーズである。
- ・ 電力会社等に直接許諾を得る場合、担当者が変わったりするので、許諾を得るのに時間がかかる場合がある。
- ・ 現時点より各自で許諾が必要と思われる図表、文章等をリストアップしておくことが望ましい。

5-5 次回の開催および原稿案の提出について

- ・ 次回の開催は 8 月 10 日、14:00 より場所は応用地質学会事務局とする。
- ・ 現在未提出の章、B ランクに対し未完成の章は 7 月初旬までに幹事に提出する。幹事は提出された原稿を各委員に配布し、委員の修正意見を仰ぐ。
- ・ 各委員は修正意見をもとに原稿を修正し、7 月 31 日までに幹事に提出する。

以 上